

平成 31 年度の事業・予算について

1. コミュニティバス

(1) 取組内容

① 利用促進 PR

大風合戦、見附まつり開催時乗降無料キャンペーン実施【継続】

- ・見附、今町地区のイベント開催時に各地区住民の交流を図る。
- ・公共交通の利用を促し、自家用車の抑制を図る。

コミュニティバス内装デコレーション【継続・拡充】

- ・イベント時等に一部の車両車内を装飾し、利用者の話題性を図る
- ・地元高校生、保育園等との協力を検討

定期券販売の周知【継続】

- ・産業団地進出企業等に対し、定期券購入のPR

広報、地域コミュニティかわら版による公共交通特集掲載【継続】

- ・コミュニティバス特集、運転手募集等（広報5月号予定）

② 動態調査の分析による利便性の向上・運行の効率化【継続】

5月、11月、1月実施予定

③ 車内、車外広告掲載のPR【継続】

運賃収入以外の収入源の確保に努める。

④ コミュニティバス増車事業【新規】

バス車両を1台増車し、10月のダイヤ改正時に夕方以降のダイヤを拡充することで、利用者の利便性の向上を図る。

(2) 事業費（予算）65,792千円

①	コミュニティバス運行費負担金	54,894千円
	10月以降7台体制（国からの事業者直接補助、運賃収入等を除く）	
②	コミュニティバス増車事業負担金	1,500千円
	越後交通(株)中古車両を整備	
③	コミュニティバス車庫運営費	8,688千円
④	コミュニティバス位置情報システム	710千円
	10月以降7台体制	

(3) 目標

利用者数：195,000人（網計画より）（バス10台体制時目標数値）

（H30年度目標：190,000人、H30年度見込：180,000人）

参考：平成31年1月末現在 150,769人

2. デマンド型乗合タクシー

(1) 取組内容

① 運行区域の拡大【新規】

路線バスの廃止に伴い、10月から公共交通空白地域となる郊外地域に対し、運行区域を拡大する。

杉澤町、町屋町、西山町 ⇒ 新規

堀溝町、池之島町 ⇒ 拡充

② 利用促進PR【継続】

- ・広報による特集記事を掲載（10月号予定）
- ・地域コミュニティ、町内会と連携したデマンド事業周知

③ ダイヤ改正

- ・10月のコミュニティバスのダイヤ改正に合わせ、地元の意見を調整し、より外出しやすくなるダイヤの改正を実施する。

(2) 事業費（予算）

5,400千円（全地域合計）

(3) 目標

利用者数：3,400人（網計画より）

（H30年度目標：3,300人、H30年度見込：3,400人）

参考：平成31年1月末現在2,801人

3. レンタサイクル

(1) 取組内容

- ① 全国先進事例の取組みの調査、研究
- ② 利用者アンケートの実施

(2) 事業費（予算）

346千円

(3) 目標

- ・貸出回数：1,400回（網計画より）

（H30年度目標：1,250回、H30年度実績：1,351回）

4. モビリティマネジメントの実施

(1) 取組内容

公共交通 PR、動態調査、利用者アンケート、公共交通説明会

(2) 事業費（予算）

1,200 千円

5. その他（見附市予算より実施する事業）

(1) コミュニティバス バス停サインの更新

約 70 箇所

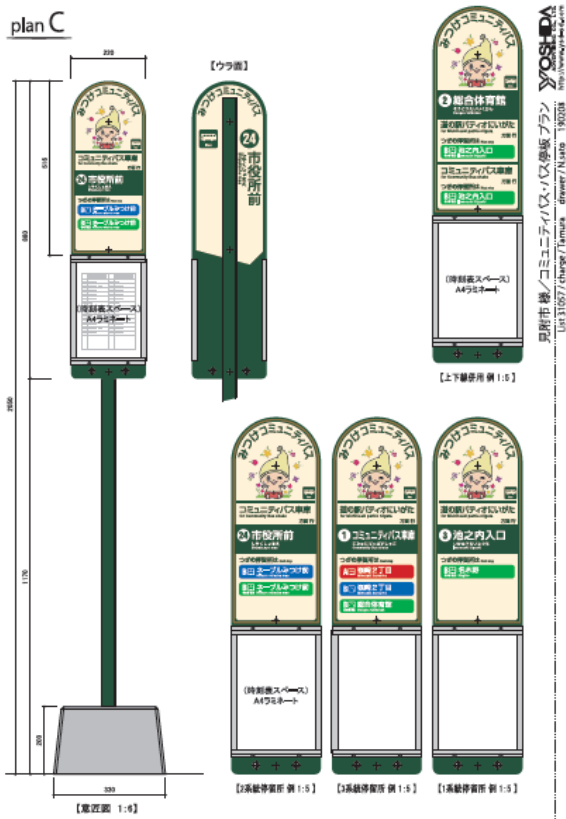
見附市サイン統一方針に基づき、統一感のあるバス停サインを設置

(2) バス停への健幸ベンチの設置（10 箇所予定）

嶺崎 2 丁目（上下）、南本町東（上下）

上新田南（上り）、上新田町（上下）、今町 5 丁目北（上下）

ウエルネスタウン



看板イメージ（案）



健幸ベンチイメージ